

1 がん医療(地域連携)

個別施策アウトプット

	県の指標	国の評価指標
①患者・家族満足度調査の実施	がん患者とその家族の満足度等の評価方法について検討結果の公表 <指標案> ①病院から退院後の在宅医療等の説明 ②地域のかかりつけ医や訪問診療を行う医師の情報源	
②在宅機能調査の実施による情報の更新		
③5大がんのパスの更新等及び啓発	「前立腺がん」の「私のカルテ」作成	
④スムーズな在宅療養への院内体制の整備及び地域の病院等との連携の推進	・地域連携クリティカルパスを適用した患者延べ数 ・「がん地域連携指導致」施設基準の届出施設数	
⑤県民への地域連携体制、在宅療養の普及啓発及び情報提供の推進	・在宅療養についての認知度 ・県ホームページへのアクセス数	

中間アウトカム

	県の指標	国の評価指標
	長期目標を達成するため、がん診療に関する地域連携体制の整備が進められている。	<指標案> ①病院から地域のかかりつけ医や訪問診療を行う医師の紹介の有無 ②退院後の訪問診療の時期 ③訪問診療を行う医師を決めた理由
(1)拠点病院ネットワークが機能を更に充実させている。	・地域連携クリティカルパスを適用した患者延べ数 ・「がん地域連携指導致」施設基準の届出施設数（再掲）	・拠点病院から地域医療機関に紹介された患者で別の医療機関に通院した者の割合(A29) ・拠点病院で地域連携室等に専従・専任で配置されている人数等(A30a) ・地域の医療施設のうち拠点病院が適切な連携を行っていると回答した施設の割合(A31)
(2)県民が地域連携や在宅療養について必要な情報提供を受けている。	<指標案> 在宅療養についての認知度 ①病院とかかりつけ医が連携して診療する制度を知っている人の割合 ②自宅での療養生活の情報不十分でないと感じた人の割合	

分野別最終アウトカム

	県の指標	国の評価指標
居住する地域にかかわらず質の高いがん医療を受けられる。		
(1)医療機関の有機的ネットが形成され居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受けられている。	患者やその家族の満足度(3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定) <指標案> ①自宅生活の満足度 ②訪問診療、訪問看護の満足度 ③緊急時や夜間での態勢整備の安心度 ④自宅で医師や看護師に相談できる満足度	この1年間にあなたは治療や支援がとぎれてしまいい、困ったことがありますか(Z8)
(2)希望する人が住み慣れた場所で療養生活を送ることができる。		・介護保険を利用している40～64歳のがん患者の介護サービス満足度(A35) ・在宅療養中のがん患者の医療に関する満足度(A36) ・死亡場所(自宅/施設)(D1 D2) ・終末期がん患者の療養場所の選択(D14) ・家族の介護負担感(D15) ・あなたは、ご家族の看護や介護の負担を感かかっていると感じていますか。(Z16)